

水道施設を紹介します

～新宿取水場～

銚子市の水道水源は創立当初の井戸水から始まり、その後白石貯水場を開発して水源としてきました。しかし、給水量が急増を続け水源の水量が不足してきたことから、新たな水源を利根川水系黒部川に求めることになり、東庄町に取水場を建設し、昭和44年度から取水を開始しました。取水された黒部川の水は導水管を通り本城浄水場に送られています。

平成16年度からは高度浄水処理施設が稼働しており、現在では本城浄水場で処理する原水の9割以上が新宿取水場から送られています。



新宿取水場の概要

所在地	香取郡東庄町新宿1465番地
取水施設	取水ポンプ 150 kw×4台
高度浄水処理施設	処理能力 30,000m ³ /日
粉末活性炭注入施設	供給能力 5～100 kg/h
排水処理施設	回収槽 2 池、天日乾燥床 5 池

《高度浄水処理施設》

黒部川は上流の汚濁や藻類の繁殖等の影響を受けて水質障害が発生しやすくなっています。そのような状況に対処するため、通常の浄水処理では十分対応できない、異臭味成分、トリハロメタン生成の原因となる有機物質などを原水段階で処理することを目的として、生物活性炭処理を行う高度浄水処理施設を建設しました。

◎主な施設

取水ポンプ



高度浄水処理された原水を取水ポンプで吸い上げ、道路に埋設された導水管を通して、約19km離れた本城浄水場に送っています。

高度浄水処理施設



粒状活性炭(平均粒径0.6mm)に微生物を繁殖させて、微生物の働きを利用した自然浄化と活性炭の吸着処理の両面から、異臭味成分、有機物を除去します。

粉末活性炭注入設備



水質悪化時に粉末活性炭を取水ポンプの吸い込み口へ送る設備で、粉末活性炭が導水管を流れていく間に異臭味成分、有機物等を吸着します。

排水処理施設



高度浄水処理施設を洗浄する過程で発生した泥と水が送られてきます。写真左奥が回収槽、手前が天日乾燥床です。